

Nav*i*

No.73
2019.3

index

p.1 : 特集 シニア向け「ボランティア体験バス」
を運行しました
p.4 : 平成30年度「県民社会貢献活動知事表彰」
受賞者決定!

p.5 : 災害ボランティア研修会を開催しました
p.6 : 福縁ボランティア 活動紹介
p.7 : センターからのお知らせ

特集

シニア向け「ボランティア体験バス」を運行しました

豊富な知識や経験、技術を有するシニア世代の方々には、ボランティアなど社会貢献の分野においても活躍が期待されています。しかし、自分がボランティアとして役に立つのか不安に思い、興味はあってもなかなか活動を始めることができない方も多いようです。

新しいことを始めるときの戸惑いや不安を少しでも解消してもらうため、県では、おおむね60歳以上の方を対象に、実際にボランティアが活動している県有施設などでボランティアを体験するバスを運行しました。

ボランティア体験バス

- ♥ 第1回 平成30年12月11日(火)
図書館・病院ボランティアコース
- ♥ 第2回 平成31年1月22日(火)
国際交流・病院ボランティアコース
- ♥ 第3回 平成31年2月23日(土)
児童支援ボランティアコース
- ♥ 第4回 平成31年3月15日(金)
※予定 観光・病院ボランティアコース
- ♥ 第5回 平成31年3月21日(木・祝)
※予定 【嶺南】観光・縁結びボランティアコース

いろいろな
ボランティアを
体験!



はひりゅうが
見送りに来て
くれました!



～第3回までの参加者(合計42名)の内訳～

性別 女性:28名 男性:14名 年齢 平均年齢:69歳 (最年長:87歳)
お住まい 福井市、坂井市、鯖江市、永平寺町、
越前市、あわら市、勝山市

各施設での体験の様子



福井県立図書館

体験内容 ▶ 資料整理ボランティア

図書館に返却された本を書架に戻す。乱れた書架を整える。

本を書架に戻す、という一見単純な作業ですが、その並べ方や書架の整え方には細かなルールが決められており、説明を受けてから作業を始めました。図書館を利用する方のためにも正確な場所に戻す必要があるため、初めはベテランのボランティアや職員に確認しながら、一冊ずつ本を戻していきます。だんだん慣れてくると、一人で次々と作業を進められる人も。「本を戻す場所が見つかったときは達成感があって面白い」「体も頭も使うし楽しい」という感想が聞かれました。



福井県文書館

体験内容 ▶ 古文書整理ボランティア

未整理の古文書について、目録作りやリスト化を行う。

一般の利用者が入れない部屋で、本物の古文書を扱いました。大切な資料を保護するため、時計や指輪などの貴金属を外し、手袋・マスクを着用して作業しました。文書館の講座を受講して「くずし字」の解読ができるようになったボランティアたちが実際に古文書の解読をしているという話を聞き、専門知識が求められるような場所でもボランティアが活躍しているということに参加者は驚いていました。「ボランティアも幅広いということがわかった。何かできることから始めてみたい。」という感想が聞かれました。



福井県立病院

体験内容 ▶ 病院ボランティア

院内図書館での本の貸し出し受付をする。
病棟とリハビリ室間で車椅子の患者さんを送迎する。

院内図書館を見学してボランティアから話を聞いたあと、患者役の参加者が乗った車椅子を実際に送迎する体験をしました。長年活動しているボランティアから車椅子の扱い方や活動に際しての注意事項について説明を受けると、「自分にできるかな」と少し緊張した方もいたようでしたが、体験した後は「車椅子を触ったのは初めてだったけど、思っていたほど難しくなかった」と安心し、「改めて自分もやってみたいと思った」と話していました。



福井県国際交流会館

体験内容 ▶ 日本語ボランティア

簡単な日本語を使って、外国の方に日本語を教える。

日本語ボランティアの団体である「日本語の輪を広げる会」の皆さんが、普段の活動の様子や日本語ボランティアになるための入門講座の内容について説明しました。外国人に見立てたボランティアにイラストと簡単な単語を使って日本語を教える体験を通し、外国人に言葉を教える難しさややりがいを実感し、活動への意欲が高まったという方もいました。また、災害時の外国人支援について国際交流協会の方から話を伺いました。外国語を使わなくても外国人を助けることができるという言葉に、皆さん頷きながら話を聞いていました。



福井県児童科学館(エンゼルランドふくい)

体験内容 ▶ 児童支援ボランティア

子どもの創作活動や体験の補助などを行う。

館内では、子どもたちのためのさまざまな体験教室やイベントが実施されており、ボランティアの活動にもたくさんの種類があります。元気で賑やかな子どもたちの様子に笑顔になりながら、複数の活動を体験しました。子どもたちを近くで見守り、必要なときだけ声をかける方、まめに声をかけてやり取りする方など、それぞれが自分なりの方法で子どもたちと関わっていました。「子どもたちの喜ぶ顔を見られて良かった。何ができそうか探してみたい。」「孫と同じくらいの年齢の子どもたちが活動していて微笑ましい。時間が合えばやってみたい。」と話していました。



参加者の感想

大変参考になりました。
自由な時間を有効に使うために、
微々たる力でも社会に貢献したい
気持ちがわいてきました。

指示してもらったとおりに活動
することができて嬉しく思いま
した。自分もまだまだ、いろ
いろなことができると自信がつ
きました。

まずは、今後自分にできそうな
ことを探してみたいと思います。

他のボランティアも
体験してみたいです。

家族の世話や親の介護で時間的に無理だと思っていましたが、都合に
合わせて無理のない範囲で活動できることを知り、安心しました。ボラ
ンティアをされている方の生き生きした表情を拝見し、素敵だなと思
いました。

なかなか大変と思うと同時に、
やってみたいという思いも膨ら
みました。

平成30年度「県民社会貢献活動知事表彰」受賞者決定！

県では、県民の自主的な意思に基づいて行われる社会貢献活動に対する意識の高揚を図るため、特に優れた活動や先駆的な活動をした個人・団体に対する表彰を行っています。

今年度は次の2名・7団体の受賞が決定し、平成30年12月19日(水)に県庁で表彰式が行われました。



知事表彰(1名・4団体)

高崎 三藏 様(敦賀市)

サンタクローズに扮装し、毎年、市内の保育園、病院等を慰問する活動をしています。

大野イトヨの会 様(大野市)

本願清水に生息していたイトヨの保護活動やイトヨの里の保全活動などを行っています。

おばま児童文学会 風夢 様(小浜市)

親子、幼児、小学校低学年生向けのおはなし会や学校での読み書かせなどの活動をしています。

サポート東 様(越前市)

住民主体のボランティアバンクを設立し、近所の助け合いによる高齢者支援などを行っています。

中野清水を守る会 様(大野市)

中野清水を復活させる活動を行い、イトヨの保護活動や湧水文化などの発信をしています。

知事奨励賞(1名・3団体)

田原 健子 様(永平寺町)

県図書館において、古文書資料の解読、筆耕、資料叢書などの活動をしています。

永平寺川にサケ・サクラマスの遡上を実現する会 様(永平寺町)

サクラマスの稚魚の放流や水生生物の観察会など子どもたちへの環境教育活動などを行っています。

特定非営利活動法人越前福祉ゆめサロン 様(越前町)

保育所の慰問や地域の高齢者とのふれあい事業、子どもの一時預かりなどの活動をしています。

観光ボランティアガイドつるが 様(敦賀市)

敦賀のまちの案内や紹介、市民向けの講座や観光イベント等の広報などの活動をしています。

災害ボランティア研修会を開催しました

災害時におけるボランティア活動の必要性や活動の内容、災害ボランティアセンターの設置・運営に関して、地域の団体や社会福祉協議会、市町などで構成される市町災害ボランティアセンター連絡会のメンバーなどが参加し、研修会を開催しました。

災害時には近隣の市町の方々との連携や協力が不可欠であることから、より身近な地域の皆さんが顔を合わせることができるよう、県内を3ブロックに分けて研修に参加していただきました。

丹南
ブロック

実施日：平成30年12月22日
場 所：鯖江市（サンドーム福井）

嶺南
ブロック

実施日：平成31年1月19日
場 所：小浜市（今富公民館）

福井・坂井・奥越
ブロック

実施日：平成31年1月26日
場 所：福井市（アオッサ）



丹南ブロック(12月22日)



嶺南ブロック(1月19日)



福井・坂井・奥越ブロック(1月26日)

平成30年度の研修では、「ボランティアとは何か」ということを改めて整理するところから始まり、ボランティアの歴史や特性、平成9年1月のロシアタンカー重油流出事故や平成16年7月の福井豪雨災害などの県内災害時のボランティアの様子、災害ボランティアセンターの運営で苦労した点などについて、当時運営に関わっていた講師の松森和人さん（NPO法人ふくい災害ボランティアネット）からお話をさせていただきました。

さらに、平成30年7月豪雨の際に実際に現地でボランティア活動を行った松森さんの経験を踏まえ、よりスムーズな「災害ボランティアセンター」の運営方法について学びました。

最後は、参加者がグループに分かれ、水害や土砂災害が発生したという具体的な状況を想定し、「ボランティアがどれくらい必要になるか」、「どうやってボランティアを集めるか」、「スムーズにボランティアセンターを運営するために必要な手段や、現場戦略は？」などについて、具体的に意見を出し合い、発表を行うワークショップを行いました。

参加者の方からは、「ワークショップでは実際に発災したと想定し具体的に考えたので、実践に近い訓練ができた」、「ボランティアセンターの設置運営にあたっては、目標や目的を持ち、それに向かってどう運営し行動していくかが大事であると分かった」という声などが聞かれました。

福縁ボランティアポイント制度は、誰でも簡単に参加できます！

前号(No.72)でもご紹介した「福縁ボランティアポイント制度」。ふくい県民活動・ボランティアセンターなどでピンクの「福縁ボランティアカード」を貰ってボランティア活動を行うだけで、簡単にポイント(ハートのスタンプ)を貯めることができます。

今回は、福縁ボランティアポイント制度に参加している方の、実際の活動の様子をご紹介します。



仲良しメンバーでおしゃべりしながら、楽しくボランティア



皆さんは、古切手を集めるボランティア活動があることをご存知ですか？世界各国の切手収集家の中には消印が押された切手を集めている方々がいるので、古切手は買い取ってもらえます。そのため、古切手を集めて慈善団体などに送り、団体の活動資金に充ててもらおうというボランティアがあります。

ふくい県民活動・ボランティアセンターでは、使用済みの封筒から古切手を切り取る「切手ボランティア」を募集しています。事前の申し込みは不要なので、空いた時間に気軽に活動できます。(回収した古切手は慈善団体や福祉団体に送っています。)この切手ボランティアを長い間続けている60代~70代の女性4人グループに、お話を伺いました。

♡活動のきっかけは何ですか？

★会社を辞めて何か始めたいと思っていた時に募集記事を見かけ、これならできるかなと思ったので。

★1日24時間すべてを自分のために使うのではなく、少しでも人のために使いたいと思って、ボランティアを始めました。

♡どれくらい続けていますか？

★それぞれ10年とか、15年とか。ボランティアセンターがアオッサに移転する前からやっています。



♡他にもボランティア活動をしていますか？

★いろいろしていますよ。
一つ始めると、どんどん繋がりが増えていくんです。

♡福縁ボランティアポイント制度に参加してどうですか？

★センターで切手ボランティアをして、その時に他の活動の分のスタンプも押しもらっています。スタンプを押しもらうなんて子どもの頃に戻ったようでワクワクするし、ハートのスタンプで埋まったカードを見ると、これだけ活動してきたんだなと実感でき、活動の記録にもなっています。

♡活動を長く続けるコツや、これから活動を始めようとする人へのアドバイスはありますか？

★みんなでしゃべりながら活動するのが好きな人もいれば、一人で黙々と作業をするのが好きな人もいます。自分に合った活動を見つけることが大事ですね。

★楽しむことが一番！無理すると続かないですから。あまり構えずに、やってみて「合わないな」と思ったら違うことを始めればいいんです。気楽に考えて、とにかく一歩を踏み出してみるといいと思います。

新しく認証したNPO法人をご紹介します



特定非営利活動法人
心からだサポート協会

認証／2018年8月9日
代表／三浦 奈緒子

私たちは、皆さまの笑顔が増えることを心より願い、カウンセリングや心の講座などを通して、皆さま1人1人の自己実現と幸福につながるよう心理の面から支援することを目指しております。また、心からだサポーターやカウンセラーの育成にも力を入れ、心の相談をされておられる方への継続的な学びの場も提供しております。ご自身のために、身近な人のためにぜひ当協会をご利用ください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人
Dear Message Keep Office

認証／2018年9月27日
代表／三島 慶一



《書いて残そう、あなたのことば》

近い間柄である相手とは、面と向かってお礼を言ったり注意したりすることは、何となく照れ臭かったり、口げんかになるのではないかと変に気づかたりしてなかなか口に出して言う機会がないのではないのでしょうか。当法人は、そのような大切な言葉の文書化や自筆遺言書作成のお手伝いをすると共に、お預かりもすることで明朗な人間関係を長い間維持していくことを目的としています。



特定非営利活動法人
農村お助け隊

認証／2018年10月17日
代表／岡田 英明

私たちは、『平成30年福井豪雪』をきっかけに発足致しました。発起人の理事は、都市部から農村部に移住したこともあり、日頃お世話になっている地域に何か出来ないかと考え発足することになりました。メンバーの多くは農業に関わる仕事をしている者が多いことから、農業を通じた農村部の魅力の発信を中心に徐々に活動の範囲を広くしていきたいと考えております。農業や農村部にご興味のある方はどうぞ、お気軽にご連絡ください。

特定非営利活動法人
ねこやなぎ倶楽部

認証／2018年11月28日
代表／吉田 幸夫

障がいのある人が、地域で普通に暮らせる環境を整え、あたり前の日常が送れるように、グループホーム等の設置運営を行うためにNPO法人を設立しました。障がいの有無に係わらず、一生懸命に働いて一人ひとりが役割を持ち、住み慣れた場所で楽しく暮らせるようにと考えています。また、誰でも気軽に立ち寄れるご近所付き合いを大切にしたいと思っていますので、声をかけていただくと嬉しいです。



特定非営利活動法人
細呂木地区創成会

認証／2018年12月7日
代表／藤川 龍七

隣接する地域と連携し、細呂木地区を中心にあわら市の活性化と発展に寄与することを目的に設立しました。「えきまえカフェ」、ギャラリーや売店を介して市民の交流を図ります。地元の歴史遺産を整備し国内外の観光客の誘致を促進します。主要道路や駐車場の清掃活動で清潔で安全な移動空間を確保します。また、門松づくりと「どんと焼き」を通じて、竹藪の再生と景観保全を進めます。

上記のNPO法人については、ふくい県民活動・ボランティアセンター(電話 0776-29-2522)まで お問い合わせください。

ボランティア関連情報

「福井県社会貢献活動支援ネット」でボランティアを始めよう!



URL : <https://www.navi-fukui.jp/>

「福井県社会貢献活動支援ネット」では、県内のさまざまな団体によるボランティア募集情報を掲載しています。また、会員登録をすることで、自分が興味のある分野のボランティア募集情報をメールで受け取ることもできるようになります。

ボランティア活動にチャレンジしてみたい方は、ぜひご利用ください。

福井県支援ネット

検索

NPO関連情報

無料の会計税務相談会を開催します。

計算書類の作成や税金の申告などの会計書類について、専門家(税理士)による個別相談会を開催します。

【対象】NPO法人または社会貢献活動団体

【開催日】毎月第1水曜日

(4/3, 5/8, 6/5, 7/3, 8/7)

【時間】13:30~16:30の間(完全予約制)

※1法人当たり45分程度

【相談料】無料

【申込み】相談日の前週の金曜日までに、電話かメールでお申込みください(先着順)

【協力】北陸税理士会 福井支部

【申込み・問合せ】

ふくい県民活動・ボランティアセンター
(詳しくは本ページ下欄をご覧ください。)

総会の開催前に定款を見直そう

県内の多くのNPO法人は3月末で事業年度が終了し、これから社員総会に向けた準備を始める時期となります。

総会の招集方法や定足数、議事録の記載内容などは、すべて各法人の定款に記載されています。定款に沿った方法で総会を開催できているか、定款の変更は必要ないか、この時期に確認するようにしましょう。

なお、特定非営利活動促進法により、定款の変更は社員総会の議決事項と定められています。ほとんどの法人は通常総会を年に1回と定めているため、通常総会で定款変更ができないと、臨時総会の開催が必要となりますので、ご注意ください。



NPO・ボランティアに関するご相談は…

ふくい県民活動・ボランティアセンター

住所 〒910-0858 福井県福井市手寄1丁目4-1(AOSSA7階)

TEL 0776-29-2522 FAX 0776-29-2523

E-mail f-npo-c@pref.fukui.lg.jp

開館時間 火曜日~金曜日 9:00~21:00
土曜日・日曜日 9:00~17:00

休館日 月曜日、祝日(祝日でも土・日は開館)、年末年始

アクセス JR北陸本線「福井駅」より徒歩1分
えちぜん鉄道「福井駅」より徒歩1分